



村松 真 (MURAMATSU Makoto)

学術研究院（地域教育文化学部担当）准教授

1957年生まれ。山形県金山町出身。東北学院大学経済学部卒業。東北大学大学院農学研究科博士課程（後期3年の課程）修了、金山町役場及び農林水産省林野庁勤務を経て、2009年5月から山形大学人文学部地域連携担当助教、2011年4月から山形大学エンロールメント・マネジメント部准教授、2012年1月から山形大学東北創生研究所兼務コーディネーター・准教授、2012年4月から山形大学東北創生研究所コーディネーター・准教授を経て、2015年4月から学術研究員（山形大学東北創生研究所担当）コーディネーター・准教授、2019年4月から学術研究員（地域教育文化学部担当）准教授。主な著書に『復興から地域循環型社会の構築へ―農業・農村の持続可能な発展―』農林統計協会、2013年（分担執筆）等。専門は地域計画学。

## 地域の未来は私たちの未来

私は、28年間の行政経験を経て2009年から本学に勤務しております。その間、人文学部、EM部、東北創生研究所を経て、この4月から地域教育文化学部にお世話になっております。また、「地域づくり」に興味があり、自身のライフワークとして、あるいは研究の対象として取り組んできました。気が付くと、45年の歳月が過ぎていました。行政時代は、教育行政、福祉行政、産業行政、税務行政等に従事し、社会の様々な分野と係わってきました。この経験から、学生と一般社会の係わりを支援できればと思っています。大学は、多くの学生にとって社会に旅立つ場でもあります。期待もあり不安もあるとは思いますが、何も恐れることはありません。目標を持って着実に取り組めば、必ずや未来は微笑んでくれます。このような姿勢は、私の専門である地域計画学の大切な考え方になります。地域の未来は私たちの未来です。これからも地域の未来を考え続けていきたいと思っています。